



希望をもって、社会への 第一歩を踏み出します！

一人ひとりに支援金を手渡す神野会長

連合愛知助け合い運動「就職支度支援金贈呈式」が行われる

連合愛知は3月12日、ワークライフプラザれあるにおいて、助け合い運動「就職支度支援金贈呈式」を行った。

各構成組織で取り組んだカンパ金3,800万円弱の財源によるこの就職支度支援金を、連合愛知から、施設に入所している方のうち、本年4月に就職される方に1人10万円を贈呈した。この支援金は、就職に際し寮やアパートを借り、生活必需品を購入するなど、新生活の準備金として贈呈しているもので、平成6年から愛知県共同募金会と協力し、連合愛知独自で取り組んでいるものである。贈呈式には、就職希望者82名の対象に対し、現在就職が決まっている64名のうちの51名が出席した。愛知県共同募金会の加藤副会長のあいさつの後、神野会長から一人ずつ手渡しにより「就職支度支援金」が贈呈された。

神野会長はあいさつで、「今後、皆さんが社会の一員

として大いに成長していくことを期待している。今日お渡しした支度金には各構成組織の皆さんの気持ちが含まれている」と、就職し社会への第一歩を踏み出す児童らに激励のあいさつを述べた。また、今年は、愛知労福協からハートフルカードの贈呈もあり、労福協の狗飼会長より代表に贈呈された。

児童代表からは「就職後に自立していくことが厳しい中、貴重な資金をいただきありがとうございます。私は寮に入るの、そこでの生活必需品をそろえたいと思います。これからは社会の一員として自分自身を高めるようがんばります」と決意と感謝を込めたあいさつがあった。その後、懇談会が行われ、司会者からの「支援金の使い道は」との質問に対して、「一人暮らしの生活に必要なものを買いたい」「仕事に必要な道具を買いたい」など、照れながらも希望に満ちた笑顔で受け答えをする児童たちの姿が見られた。

連合愛知2012 春季生活闘争

労働者に適正な配分を！

連合は「すべての労働者の処遇改善」を掲げて3年目となる今春闘に、労働者に適正な配分を求め、低下した賃金の復元、底上げ・底支え、格差是正に取り組み、『東日本の復興・再生に全力を尽くし、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう』をメインスローガンに掲げて取り組んできた。

日本経済の先行きは、デフレの影響、円高・原油価格の上昇、電力供給の制約など景気下押しリスクが存在し、依然として不透明な状況にある。

このようななか、経団連は「定期昇給制度のあり方」までにも言及しており、私たちの求めている「適正な配分および低下した賃金の復元」の主張との隔たりは大きく、春闘スタート時から厳しい交渉となっている。

連合愛知および連合愛知中小共闘センターは、「回答速報」や「中小共闘センターニュース」による情報提供などを通して、これからヤマ場を迎える中小労組の解決促進を全力で支援していく。

連合愛知をはじめとする各組織・団体の現時点での回答集計結果は、以下の表の通りである。

連合愛知＜加重平均・4.3現在＞

賃金改定方式	組合数	組合員数(人)	受結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	140	262,360	6,126	2.02	+31

連合＜加重平均・4.3現在＞

賃金改定方式	組合数	組合員数(人)	受結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	1,314	1,268,998	5,353	1.82	+48

愛知県産業労働部＜単純平均・4.10現在＞

賃金改定方式	企業数	組合員数(人)	受結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	74	—	3,986	1.49	-214

愛知県経営者協会＜加重平均・3.30現在＞

賃金改定方式	企業数	組合員数(人)	受結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	70	—	4,917	1.77	+14

生活の維持・改善に向け、意志結集を！

「2012春季生活闘争 官公部門決起集会」を開催



連合愛知は3月16日、名古屋市教育センターにおいて「2012春季生活闘争 官公部門決起集会」を開催した。この決起集会は、春闘期における人事院・総務省からの前向きな回答を引き出すため、公務労働者が共通認識をもつとともに意志の結集を図ることを目的に実施しており、神野会長をはじめ、藤好官公部門長・官公部門構成組織代表者など、およそ550名が参加した。

会の冒頭、神野会長は、今春季生活闘争の動向を踏まえた民間の回答状況や労働基本権にかかわる課題に

ついて述べた。その後、藤好官公部門長からは、公務員を取り巻く現在の厳しい現状や今後の取組みも含めた交渉状況報告があった。続いて、公務労協の花村副事務局長から中央情勢報告として「官公労組における今次春闘期のポイント」と題した講演をいただいた。花村氏は「今なぜ公務員制度改革が必要なのか」「国家公務員制度改革関連4法案のポイントと課題」などについて述べるとともに、「2012公共サービスキャンペーン 地方行動の取組み」について熱意を込めて語った。会の最後には、名古屋交通労組の鈴木副委員長の発声で団結ガンパローを行い、参加者全員の意志結集を図った。

団結ガンパロー



ねばり強い交渉で、組合員の生活防衛を！

「2012中小労組情勢報告交流会」を開催



あいさつに立つ中小共闘センター三村委員長

連合愛知は4月2日、ワークライフプラザれあろにおいて、2012中小労組情勢報告交流会を開催した。本交

流会には、中小共闘センター三村委員長をはじめ、構成組織の代表者など71名の参加があった。

三村委員長のあいさつに続いて、連合本部の安永副事務局長が、「連合本部の集計を踏まえた連合見解」「高齢者雇用・労働者派遣法」など中央の情勢を踏まえた報告があった。

その後、7構成組織の各代表者から、妥結状況や今次春闘の特徴点、未解決組合の解決にむけた取り組みなど、闘争状況報告があった。最後に、交流会の総括として中小共闘センター佐藤副委員長は、未解決組合の早期妥結にむけて構成組織の一層の支援と、最後まで全力で取り組むことを呼びかけた。



闘争状況報告を行う各構成組織代表者

被災地の早期復興にむけ、要請書を提出

連合愛知は3月27日、知事公館にて被災地の「がれき」受入れにむけた愛知県への要請行動を実施した。本要請行動には神野会長、土肥事務局長はじめ連合愛知より6名が参加した。

冒頭あいさつに立った神野会長は「震災から1年が経過したが、復興のスピードが遅い要因の一つが『がれき』処理が進んでいないことである。今年3月、県として前向きな姿勢が表明されて以降、各市町村においても具体的な動きが出てきたことは評価したい。この間、国との間で安全性の確保などについてやり取りされていたことは承知しているが、1日も早い復興にむけて、『がれき』処理のスピードアップを図り、県として強力にすすめていただきたい」旨を述べた。



要請書を手渡す神野会長

要請書手交後、土肥事務局長から要請書の主旨説明として「安全性の確保をはじめさまざまな問題があるのは十分認識して



あいさつに立つ神野会長

いるが、被災地の状況を見たときに、一刻も早く負担を軽減させることが私たちにできる支援の一つであり、そのことを踏まえて県として強力に取り組んでいただきたい。具体的には、各市町村への対応も含め知事のリーダーシップを強く要請したい」旨を述べた。

これに対し大村知事は、昨年4月の受入れ表明以降の国との対応経緯、現在進めている最終処分場整備に至った背景などの説明後、「国の手続きなどいろいろな課題はあるが、県が責任をもって復興に協力したい」と述べた。

すべての働く者の視点に立った政策の推進を！

官公部門 春闘期の各種要請行動を実施



要望書を手渡す神野会長(愛知県)



要望書を手渡す神野会長(名古屋市)



あいさつに立つ藤好官公部門長
(名古屋市人事委員会)

連合愛知官公部門は毎年、春季生活闘争期の取組みとして、行政などに対する要請行動を実施している。

3月26日には愛知県知事に対して「要望書」を提出した。神野会長をはじめ官公部門代表者など16名が出席し、公務労

働者の賃金・労働条件の改善や生活者の視点に立った行政の推進などについて要望し、当局からの回答を求めた。冒頭、神野会長はあいさつで、財政状況悪化を理由に義務的経費である職員賃金が4年連続でカットされようとしていることを踏まえ、人勤制度が実質的に機能しているとは言えない現状や人勤制度の在り方を今一度確認することの必要性などについて述べた。その後の意見交換では、「緊急避難措置である賃金削減の早期解除」「65歳までの段階的定年延長」「障害者雇用の推進」「公契約条例」などが話題となった。

同日には愛知県人事委員会事務局長、名古屋市人事委員会事務局長宛に、23日には人事院中部事務局長宛に「要求書」を提出している。また、29日には、名古屋市長への要請行動を行い、神野会長はじめ官公部門の各構成組織代表者が意見交換を行った。



要求書を手渡す藤好官公部門長
(人事院中部事務局)



意見交換する構成組織代表者
(愛知県人事委員会)

連合愛知「WORKING MESSAGE」只今放送中！

連合愛知は、4月6日(金)18:20～18:30の10分間、ZIP FMにてラジオ番組を開始した。このラジオ番組は、連合の掲げる「働くことを軸とする安心社会の実現」の一環として、新社会人や若年層労働者にむけて、働くことを一緒に考えることを目的に実施している。

4月～6月の毎週金曜日(全13回)行われるこのラジオ番組では、ナビゲーター・ケン・マスイさんとともに、仕事に関する「ワード」をピックアップし、わかりやすく解説する「WORKING WORD」と、さまざまな職場で働いている方をスタジオに招いて仕事の楽しさ、喜び、苦労話などの話をする「WORKING TALK」を行う。

第1回目となる4月6日は、「WORKING WORD」に「労働組合」を取り上げた。働く仲間が集まって労働組合をつくり、会社と交渉することは、憲法第28条でも保障されている基本的権利であること。職場を守り、労



ケン・マスイさんとの「WORKING TALK」

働者の暮らしをよりよくしていくのが労働組合であることなどをケン・マスイさんから解説した。

「WORKING TALK」では、連合愛知青年委員会の津川委員がゲスト出演した。自分が自信をもってすすめている商品をお客様が「おいしい」と言っていただけの喜びや、後輩に対しての接し方を試行錯誤していることなどさまざまな話が聞かれた。

第6回 執行委員会

2012年3月6日

確認事項

- 1 当面の日程について
- 2 退任役員への功労記念品の贈呈について
- 3 組織拡大支援制度に基づく支援金の交付について
- 4 官公部門 県知事・市長への要請書について
- 5 連合愛知ラジオ番組の実施について
- 6 青年委員会「ECOとやろうキャンペーン」の実施について
期 間:2012年5月12日(土)9:00~12:00
場 所:東山動植物園
- 7 被災地の「がれき」受け入れにむけた要請行動について

議 事

- 1 派遣専従役員の交代について
- 2 各種審議会・委員会などへの派遣について

3 尾張旭市長選挙の候補者推薦について

推薦候補者:水野 義則(みずの よしのり)

[無所属:新人]

投・開票日:2012年3月25日(日)

そ の 他

1 各種広報ツールの展開について



あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談

専用電話

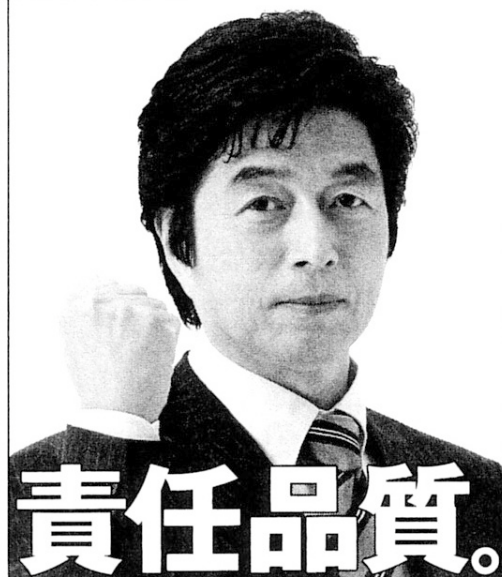
052(618)7831

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/ (社)日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

ZENROSAI NEWS



変わらぬ「安心」を、 お届けするために。

こくみん共済

⑤総合医療共済

⑥せいめい共済

ねんきん共済

自然災害保障付 火災共済

社会貢献付 火災共済

マイカー共済

自賠責共済

交通災害共済

団体生命共済

セット移行共済

慶弔共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

地 協 紹 介

知 多 地 協

地域に顔の見える運動の展開

「政策研修会」を開催

2月11日(土)東海市立勤労センターにおいて、3月11日で1年を迎える「東日本大震災」の教訓を活かすため知多地協構成組合員ならびに政策推進議員、行政関係者など総勢254名の参加のもと、名古屋大学の福和伸夫教授による「東日本大震災に学ぶ地震対策」と題した、政策研修会を開催しました。



講演する「福和伸夫」教授

講演では、「幕末から明治にかけ自然災害が多発し、自然災害が歴史をつくってきたが、今のわが国は誰も地震対策に本気になっていない。今回の震災も生々しい映像は残していない。昔は風俗画報で語り継



講演会風景

いできた。今度の東日本大震災の被害も事実として生々しい映像などを残し、後世に受け継がなければならない。また、住んでいるところが昔どんな地形だったのかを知ること大切である。」など、身近な問題にも触れ地震対策への備えを語られました。

そして最後に、みんなが本気になって地震対策をしなければならぬことを強く訴えられました。

ボランティア活動に参加しています



ボランティアに参加者の皆さん、お疲れ様でした！

2月18・25日、3月3日(土)、知多市の「佐布里池梅まつり」にボランティア活動として組合員20名が参加しました。

佐布里池の梅まつり会場において、子どもたちが参加する写生大会の受付・作品回収、会場内のイベント案内、観梅者のおもてなしなどのボランティア活動に参加しています。

＜追伸：今年は寒い日が続いたためか梅の開花が例年より遅かったようです。＞

つぼみが多い梅の花



2012 連合愛知知多地協メーデーを開催

4月28日(土)に南知多ビーチランドを会場に「2012連合愛知知多地協メーデー」を開催します。

今回のメーデーでは、働くことの大切さやメーデーの意義を再認識するとともに、「東日本大震災の被災地の現状」と題した特別報告を行い、われわれにできる震災復興支援を考える機会としていきたいと考えています。

南知多ビーチランドで
実施します
